

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1	1	活動内容や状況に応じ環境設定など配慮し工夫している。クールダウン時に使用できる個室などはないため、当日の活動によって区切りにくいと感じる時がある。	活動内容も工夫し、環境設定していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか		2	2	基準は適切に配置できているが、外出時などの安全性を考慮すると更なる配置が必要だと感じる。	基準は満たしているが、一人一人の児童とより関わっていけるようにしていきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1		来所から活動に入るまでの流れは分かり易く工夫されている。室内に段差などなく現在バリアフリー化が必要な児童の利用は無いが今後必要に応じて設置が可能です。	環境に応じて対応していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1		朝終礼の他、終礼時には反省点や改善点を含め話し合っているほか、定期的な面談や月に1回以上のミーティングを実施し職員が広く参画できる環境づくりをしている。	全体会議や朝終礼などで目標の達成の確認や、振り返りを行い改善に努めています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		アンケートを元に共有・意見交換など実施している。今後も継続して改善できていない点を改善するよう努めています。	アンケートや面談・送迎時などを通して意向などを把握し、定期的な会議を通して改善に努めている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1	1	社のホームページがリニューアルの為、現在は一時休止しているがリニューアル完成後すぐに公開します。知らない職員もいるが、検索回覧ができるよう周知している。	こちらからの情報を今まで以上に発信していきたい
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		2	第三者評価の実施はしていない。同社の別事業所との交流などからの評価・検討・改善を行っている。	行っていない。連絡会などをつなげていきたい
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			月に一回事業所内研修を開催しているほか、連絡会の研修への参加や外部研修への参加をし資質の向上を図っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			保護者や本児からニーズなどを聞き取り客観的に分析し支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2		事業所指定のソフトの様式を使用し、必要な支援が何か検討している。	より情報収集ができる環境を作り、ニーズに沿った計画作成ができるよう努めます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3		1	定期的に活動内容を話し合う機会を設けている。スタッフ間で検討し日々の活動プログラムを実施している。活動内容を話し合う際に温度差があり決まるまでに時間がかかることがある。	職員の年齢差などによる温度差が出ないように進めていきます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			活動内容の確認や配慮・工夫点を話し合い固定化しないよう努めている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		平日では時間的に難しい活動を休日に取り入れ、長期休暇などでは日々の繰り返し効果的な活動を取り入れている。	その日の状況や時間に合わせて、課題やイベントを決めて支援している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			個別と集団における双方の面から本児に適した支援ができるよう作成している。本児の状況や環境にも配慮し作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		1	朝礼時や児童が通所するまでの期間に打ち合わせや分担共有を行っている。外出時など、当日に来所予定児童の変更や配車などの準備などでスムーズに流れないときがある。	今まで以上に準備時からの確認に努めていきます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		終礼時に反省や改善を含め当日の振り返りを行っている。その場にいない職員に関しても引き継ぎ簿にて共有できるようにしている。時間がなく当日終礼に参加できない職員もいるが、翌朝礼時や引き継ぎ簿にて確認できている。	日々の確認の他、月に行う全体会議などで振り返りや確認を行っています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			活動内容や支援内容を記録し、共有している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			定期的な状況の作成作成しモニタリングを行い計画の見直しが必要かなど話し合い検討している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	3	1		個人にあった組み合わせを心掛けている。	面談にて保護者や本児のニーズを十分に聞き取ったうえでそれぞれの段階にあった活動を組み合わせることで支援しています	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2		2	主に児童発達支援管理責任者や児童指導員、保育士が参加している。未だ参加していないので知らない。子どもの状況に精通した職員が参加していると感じていない。子ども職員と責任者との参加の実施を進めています。	児童発達支援管理責任者と、事業所内の会議で選任した職員の参加ができるよう努めていきます	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	1	学校へのお迎えを行っている児童に関しては情報共有できているが自宅送迎のみの児童に関しては保護者を通して行っていることが多く、学校によっては共有しにくく連絡調整がうまくいかないところもある。 今後今以上にアプローチしていき共有できる環境づくりを行っていきます。	連絡の取次や情報共有などがうまくいかない学校に関しては今後もアプローチしていき情報の共有がスムーズにできるよう努めていきます	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4		保護者を通して情報を共有しており何かあった際の連絡体制は取れている。 訪問看護師の訪問でメンタルケア他情報共有や医療的観点からの助言など頂いている。		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4		行っている児童と行っていない児童がいる。 保護者を通して情報をいただいていることがほとんどである。 今後は実施していきたい。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4		未だ該当児童がないが、該当時には情報共有するよう準備している。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	1	必要に応じて連絡を取り合い情報交換や助言を仰いでいる。 研修の頻度はなく回数を確保する必要性を感じています	助言や情報の共有、連携は行っているが研修への参加はないため積極的に参加をしていけるよう上申していきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4			地域の公園などで交流を行っている。 コロナ禍で少ない時間帯など配慮しながら外出しているため、機会は少ない。	コロナ化が収束すれば進めていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2		現在は参加できていない。機会を見つけ積極的に参加していきたい。	コロナ化が収束すれば参加を進めていきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			送迎時、連絡帳他保護者との密な連絡ツールを利用して共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			保護者の状況に寄り添い、必要に応じて助言を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		契約時や質問があった際には、丁寧な説明を心掛けている。	職員の中で共通理解ができていない職員もいるため、全職員が理解し、同説明ができるよう整備していきます
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			送迎時や面談時他、保護者様と話す機会に聞き取りを行い対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	コロナウイルス感染症流行により実施できていない。 今後この状況下が続くことを視野にリモートでの実施なども検討している。	リモートなどはネット環境の有無などもあるため、検討中。コロナ化が収束すれば事業所での実施を進めていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			職員間で速やかに共有し責任者が迅速に状況確認対応している。 対応後は整備改善に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			取り組んだ活動の様子がわかるよう、迅速にフォトサービス(保護承認付き)を利用して公開している。 行事予定や概要などが月に1回以上予定表や児童用力カレンダーを作成し発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	3		1	個人情報の漏洩が内容常確認し注意を払っている。 パスワードや暗証番号がないと部外者が覗きすることは不可能だが、アプリ管理となっている。	アプリ管理に不安を抱いている職員のいるが、セキュリティーなどで管理している。今後も、情報の漏洩がないよう細心の注意を払っていきます
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	2		思いをくみ取れるよう努力している。 本児にあった伝達ツール(絵カード、視覚カード、マカトン)などを導き出し実施している。 検証中のものもあり、機能していないと感じるものもある。	今後も相手の立場に立ち思いをくみ取れるよう努力していきます
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1		コロナウイルス感染症流行により地域住民の招待は実施できていないが、庭でのイベント開催や掲示板を使い地域へ発信している。	ハロウィンなどのイベント時には地域のお店にお願いし協力・交流を図る準備をしているが、今年はコロナ化で協力のお願いを自粛している	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		契約時にご説明している。 必要な情報や季節性のも、今回のコロナウイルスなどについては随時状況に応じて連絡にて保護者連絡職員への周知を行っている。	契約時の説明だけでは不足していると感じているため、茶話会などの際にしっかりと伝えていきます 児童へは活動として緊急時、防犯、感染症予防など周知している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1		定期的に訓練を実施している。 その他、活動などで避難経路の確認などを織り込んだ地域散策もやっている。	今後も多様なケースに対応した訓練を行っていきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1		年間研修ほか、日ごろから利用児との関わりについて人権が守れるよう適切な対応に努めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		1	3	やむを得ない場合について、事業所として決定している場合についての説明は契約時に行っているが、該当する児童がいなかったため身体拘束の実施は無く、計画への記載をしている児童の該当者もない。	身体拘束の実施は無く、該当する児童もない。 そのため、計画への記載をしている児童の該当者もない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3		医師からの指示書はないが、保護者が医師から詳細あった指示書を情報共有して下さっており書類に起こし職員周知をしている。	保護者からの聴取や、検査結果のコピーを頂くなど個別に対応しているが、医師からの党事業所にあてた指示書はない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1		共有だけでなく事例検討し事業所内研修他連絡会でも共有している。	対策について職員間で情報の許容や対策を話し合い再発防止に努めている